

ビジョン発信プロジェクト 2020

Vol.7

2021年1月発行

～活動の軌跡、メンバーの想い～

神戸大学ビジョン発信プロジェクトは、2019年1月から、ブランディング戦略の強化、外部資金獲得のための戦略的情報発信及び教職員の協働意識や求心力の向上を含む学内における機能強化実行の後押しを目的として、有志の若手職員を中心としたメンバーで活動しています。

第二期も無事、「統合報告書2020」の作成と「シンダイシンポ2020」開催を終えることが出来ました。しかし、私たちビジョン発信プロジェクトは、これらをやり遂げて終わりではありません。いただいた貴重なご感想やご意見を、これからの活動に活かしていきたいと思えます！そのために、vol.7では、みなさまからいただいたご意見を紹介させていただき、大学の経営改善に向けて、今後統合報告を通じてどのような活動が出来るのか考えたいと思えます。また最後に、第二期でリーダーを務めた4名からのコメントも掲載しておりますのでぜひご覧ください。

今回は、第二期ラストの広報誌となります。広報誌をお読みいただき、ありがとうございます。第二期の活動の様子・メンバーの想いをお伝えできたのではないかと考えています♪

引き続き、神戸大学ビジョン発信プロジェクトをよろしく願いいたします！！

ステークホルダーのみなさまからのご意見

統合報告書2020について

【良かった点】

- ★イノベーションを起こすために文理融合を進めてきたことは価値があり、神戸大学らしくてとてもよい。
- ★コストサクゲンジャーの取り組みがよい。
- ★全体を通じて新型コロナウイルスに関連した内容に言及されており、今年を象徴した内容になっていた。
- ★世界、人、地域という3つのテーマ設定が斬新で、神戸大学の強み・特色が紹介されている。
- ★若手職員と執行部の距離感の近さを感じた。
- ★学長メッセージは、現在・過去・未来という時制の流れで読みやすく、他ページへの誘導記載など、内容要素間のつながりの工夫が見受けられた。

【期待する点・改善すべき点】

- ◆多様なステークホルダーに対して、価値創造ストーリーが分かりやすく伝わっているか。
- ◆ビジョンの実現・達成に向けての時間軸が記載されていない。数値目標、定性的な目標が埋め込まれているとよい。
- ◆ステークホルダーとの対話で意見や指摘を受け、統合報告書に反映させるだけではなく、大学の経営にどう組み込んでいくのが大事。
- ◆外部が神戸大学と連携したくなる魅力が十分に見えるか。
- ◆神戸大学の実力の相対的な質・ポジショニング等、ランキングを知りたい。
- ◆大学が統合報告書を出している意義が外から見たら理解しにくい。
- ◆ビジョンだけでなく、その先にある具体的な施策の要点が記載されているとよい。
- ◆文理融合という旗印の下ではあるが、本学伝統の社会科学系の記事がより充実すると良いと感じた。

シンダイシンポ2020について

【良かった点】

- ★統合報告書の内容紹介だけでなく、作成に至った背景、外部有識者からのフィードバックもあり、よかった。
- ★参加者を含めた活発な議論が展開されたことがよかった。

【期待する点・改善すべき点】

- ◆神戸大学の様々な観点からのポジショニング分析や他大学との比較などの資料を加えると、より大学の特徴、強み、弱みが出てきて良くなる。
- ◆シンダイシンポで得た知見をどのように大学で取り入れていくのか、シンポ終了で終わりではなく、今後の行動指針や方向性を定めることが必要。

●他大学との差別化・ブランド力について

- ・社会科学系の強みをもっと打ち出してほしい。
- ・神戸大学の校風である自由さを発揮し、殻にとじ込まない活動を期待する。
- ・世界一とまでは行かないまでも、10本の指に入るくらいを目指して欲しい。

●人材育成について

- ・課題の発見、リノベーション、イノベーションをして、新しいデジタルネイティブの世代の良さを伸ばして活かせる大学に、世界や地域で活躍する人材を輩出していく大学になって欲しい。
- ・今回、少なくともこのシンダイシンポに参加した教職員が刺激を受け協同し、大学が更に向上することを望む。
- ・神戸大学は、デジタル・AI技術を教えるのも大事だが、「人類の問題の発見」を気づかせる人間も育ててほしい。

今後の神戸大学に期待すること

●情報発信について

- ・遠隔からでも学びに参加できる機会の提供ができるようになることよい。
- ・社会や企業等の方にも、大学で統合報告を発行する意味が受容されるように、引き続き先進的な取り組みを続けてほしい。
- ・神戸大学HPで、もっと研究活動その他多くの活動を通知・報告してほしい。
- ・報告書もシンポジウムも誰に向けて何を目的としているのかをもっと明確にされるとよい。
- ・大学の取り組みについて、限られた人たちのことばかりではなく、多様なステークホルダーを意識した情報発信をしてほしい。

統合報告を通じた経営改善に向けて

- ◇「大学に今ある資源をどのように活用し、価値を生み出していくか」について、ビジョンの実現・達成に向けた時間軸と併せて、より具体的に学内・学外に示し、モニタリングも行っていくべき。
- ◇ステークホルダーとの対話で意見や指摘を受け、それを大学の経営にどう組み込んでいくのが重要。
- ◇文科省の評価制度だけにとらわれず、大学とステークホルダーが一体となり、本当に価値ある大学を目指していくことが重要。
- ◇大学とステークホルダーが対話する貴重な機会として、シンダイシンポは今後も継続開催していくべき。

第二期の活動を終えて リーダーからのコメント



プロジェクト始動早々にコロナの逆風が吹き荒れましたが、全メンバーが責任を持って役割を果たし、大変良い統合報告書ができたと感じています。

個人としては、普段接することの少ない執行部、神戸市長、教員、他部署の方々等と関わることができ、かけがえのない経験になりました。

新学長による新体制での大学運営が始まる来年度は、情報発信の在り方がますます重要になるタイミングです。「我こそは!」という方は、このプロジェクトに奮ってご参加ください!

土井

このプロジェクトに入って最も良かったことは、私自身が神戸大学により興味を持つようになったことです。プロジェクトでは、様々な教職員の前向きな考えに触れる機会が多くありました。その中で、プロジェクト活動に限らず、通常の業務でも、部署横断で協力することで業務改善や新たな活動に繋がれることが色々あるのではないかと感じました。今後も多くの方にプロジェクト活動に参加していただき、「みんなで神戸大学を良くしていこう!」という意識が広がっていくことを願っています。

大條

通常業務のある中、メンバー全員が責任を持って取り組み、統合報告書が完成したことは、本当にすごいことだと思います。誰か1人でも欠けていれば完成しなかったと思います。

ビジョン発信という熱意あふれるプロジェクトですが、ひとつの冊子を作るには熱意だけでなく冷静な判断が必要とされ、個人的に非常に勉強になりました。大学のためにも、自分のためにもなるプロジェクトです。少しでも興味のある方はぜひ手をあげていただき、一緒に神戸大学を盛り上げていきましょう!

河西

プロジェクトもこれで終了ということで感慨深いものがあります。終わってみると短かったようにも感じられます。良いメンバーに恵まれたお陰で無事終了できました。良いリーダーだったかは・・・?

色々と苦労もありましたが、個人的には参加してよかったと思っています。来年度は学長も代わるため、内容も大幅リニューアルでやりがいがあると思うので興味のある人は是非参加してみてください。

谷



ご意見・ご感想等ございましたらお気軽にこちらまでご連絡ください♪

問い合わせ先：神戸大学財務部財務戦略課

(神戸大学ビジョン発信プロジェクト・説明会班)

E-mail : fn-ssp@office.kobe-u.ac.jp

TEL : 078-803-5105